# 貸借対照表

(2020年1月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の	部	負債の	部
流 動 資 産	50, 600, 158	流動負債	11, 133, 672
現金及び預金	15, 818, 175	営業 未 払 金	724, 653
営 業 未 収 入 金	1, 032, 042	リース債務	5, 768
リース債権	148, 012	未 払 金	11,684
リース投資資産	2, 517, 706	未 払 費 用	250, 958
販 売 用 不 動 産	21, 116, 965	未払法人税等	1, 235, 603
仕掛販売用不動産	8, 993, 866	営業 前 受 金	7, 070, 328
未成工事支出金	52, 140	預 り 金	1, 132, 934
前渡金	317, 992	賞 与 引 当 金	659, 340
前 払 費 用	122, 871	役員賞与引当金	42, 400
未 収 入 金	314, 206		
そ の 他	197, 048		
貸 倒 引 当 金	△ 30, 870	固 定 負 債	11, 631, 010
固 定 資 産	28, 882, 921	長期借入金	4, 900, 000
有 形 固 定 資 産	17, 973, 753	リース債務	162, 482
建物	14, 595, 026	役員退職慰労引当金	64, 870
構築物	247, 168	退職給付引当金	500, 780
機械装置	127, 479	資 産 除 去 債 務	1, 117, 597
器 具 及 び 備 品	80, 737	預り敷金及び保証金	4, 820, 618
土 地	2, 767, 552	長期未払金	64, 661
リース 資産	155, 788		
無形固定資産	44, 591	負 債 合 計	22, 764, 682
水道施設利用権	11, 777	純資産の	部
電話加入権	18, 340	株主資本	
ソフトウェア	14, 473	資 本 金	5, 829, 600
投資その他の資産	10, 864, 576	資本剰余金	7, 017, 800
投資有価証券	54, 600	資本準備金	7, 017, 800
関係会社株式	671, 000	利益剰余金	43, 870, 997
長期貸付金	439, 714	利益準備金	340, 650
長期前払費用	582, 263	その他利益剰余金	43, 530, 347
寄 託 敷 金	6, 819, 189	配当準備積立金	400,000
敷金及び保証金	1, 415, 147	別途積立金	35, 750, 000
操延税金資産	806, 783	繰越利益剰余金	7, 380, 347
前払年金費用	110, 877		
そ の 他 貸 倒 引 当 金	19, 400	純 資 産 合 計	56, 718, 397
貸 倒 引 当 金   資 産 合 計	<ul><li>△ 54, 400</li><li>79, 483, 079</li></ul>	純 資 産 合 計 負債・純資産合計	79, 483, 079
具 圧 口 引	19, 400, 019	只很「സ具件口引	19, 400, 019

<sup>(</sup>注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損益計算書

 $\left(\begin{array}{ccc} 2019年2月 & 1日から \\ 2020年1月31日まで \end{array}\right)$ 

(単位:千円)

科目		(単位:干円)  額
	<u>ज</u> ्	
営業収益	05.000.000	119, 945, 323
不動産賃貸収入	85, 963, 061	
仲 介 手 数 料 収 入	3, 486, 984	
販売用不動産売上高	21, 622, 270	
その他の営業収入	8, 873, 006	
堂 業 費 用		100, 253, 818
不動産賃貸費用	76, 817, 832	
中 介 費 用	332, 198	
販売用不動産売上原価	18, 029, 907	
その他の営業費用	5, 073, 880	
営業総利益		19, 691, 504
販売費及び一般管理費		8, 991, 796
営 業 利 益		10, 699, 708
営 業 外 収 益		53, 451
受取利息及び配当金	38, 265	
雑 収 入	15, 185	
営 業 外 費 用		81, 572
支 払 利 息	20, 490	
雑 支 出	61, 082	
経 常 利 益		10, 671, 586
特 別 利 益		122
固 定 資 産 売 却 益	122	
特 別 損 失		6, 305
固定資産除却損	6, 105	
固定資産売却損	199	
税引前当期純利益		10, 665, 403
法人税、住民税及び事業税		3, 255, 000
法 人 税 等 調 整 額		48, 303
当期純利益		7, 362, 100

<sup>(</sup>注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

( 2019年2月 1日から 2020年1月31日まで )

(単位:千円)

									± • 1 1 4/
			株	主	資	本			
	資本剰余金		利 益 剰 余 金						<b>体次立</b> 入引
	資本金	資本金資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金	株主資本 合計	純資産合計	
				配当準備積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	合計		
当期首残高	5, 829, 600	7, 017, 800	340, 650	400,000	29, 700, 000	10, 085, 634	40, 526, 284	53, 373, 684	53, 373, 684
事業年度中の変動額									
剰余金の配当						△4, 017, 388	△4, 017, 388	△4, 017, 388	△4, 017, 388
別途積立金の積立て					6, 050, 000	△6, 050, 000	_	_	_
当期純利益						7, 362, 100	7, 362, 100	7, 362, 100	7, 362, 100
事業年度中の変動額合計	_	_	_	_	6, 050, 000	△2, 705, 287	3, 344, 712	3, 344, 712	3, 344, 712
当期末残高	5, 829, 600	7, 017, 800	340, 650	400,000	35, 750, 000	7, 380, 347	43, 870, 997	56, 718, 397	56, 718, 397

<sup>(</sup>注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

#### 個別注記表

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2	重要な会計方針に	仮ス	車面	一関す	ス治	급
۷.	里女仏云引刀到い	- ボる	尹垻!	-  天  ソ	വ	ᄀᇛ

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの ………………… 移動平均法に基づく原価法によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

販売用不動産・仕掛販売用不動産・未成工事支出金

個別法に基づく原価法によっております。(貸借対照表 価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)…… 建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日

以降に取得した建物附属設備及び構築物については 定額法、その他の有形固定資産については定率法を採 用しております。なお、耐用年数については法人税法

に規定する方法と同一の基準によっております。

無形固定資産(リース資産を除く)…… 定額法を採用しております。なお、耐用年数について は法人税法に規定する方法と同一の基準によってお ります。但し、自社利用のソフトウエアについては、 社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採

用しております。

資産については、リース期間を耐用年数とし、残存

価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 引 当 金 の 計 上 基 準

貸 金 ……… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につ 倒 引 当

> いては貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権 については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込

額を計上しております。

賞 与 引 当 金 **※※** 従業員に対し支給する賞与に充てるため、支給見込額

のうち、当事業年度に負担すべき額を計上しておりま

す。

役 員 賞 与 引 当 金 ………… 役員に対し支給する賞与に充てるため、支給見込額に

基づき計上しております。

役員退職慰労引当金 …… 役員の退職に際し支給する退職慰労金に充てるため、

内規に基づく当事業年度末現在の要支給額を計上して

おります。

退 職 給 付 引 当 金 ……… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末にお ける退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計 上しております。なお、退職給付見込額の期間帰属 方法、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処 理方法は以下の通りです。

①退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事 業年度末までの期間に帰属させる方法については、給 付算定式基準によっております。

②数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 数理計算上の差異は、5年による定額法により按分した 額を発生の翌事業年度から費用処理することとしてお ります。また、過去勤務費用については、5年による定 額法により按分した額を発生した事業年度より費用処 理することとしております。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。なお、固定資産に係る控除 対象外消費税等については、投資その他の資産の長期前払費用に計上し、5年間で均等償却を行 っております。その他の控除対象外消費税等については、発生事業年度の期間費用としており ます。

#### 表示方法の変更に関する注記

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当 事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

### 3. 貸借対照表に関する注記

(1)	宅地建物取引業に基づき営業保証金と	して供託している資産	
	敷金及び保証金		275,000 千円
(2)	特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に 瑕疵担保保証金として供託している資産		
	敷金及び保証金		128,400 千円
(3)	有形固定資産の減価償却累計額		4, 155, 326 千円
(4)	保証債務		37,000 千円
(5)	関係会社に対する金銭債権・債務		
	短期金銭債権		279, 208 千円
	長期金銭債権		518, 145 千円
	短期金銭債務		31,163 千円
	長期金銭債務		4,903,650 千円

## (6) 追加情報

資産の保有目的の変更

前事業年度末において固定資産に計上していた投資不動産等678,909千円をたな卸資産に振替しております。

## 4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業収益		642,546 千円
営業費用		275,633 千円
営業取引以外の取引	川高	150,456 千円

#### 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数

普通株式 26,257 千株

- (2) 剰余金の配当に関する事項
- ①配当金支払額等

2019年4月22日開催の定時株主総会決議による配当に関する事項

・配当金の総額 4,017,388 千円

・1 株当たり配当額 153 円

·基準日 2019 年 1 月 31 日

· 効力発生日 2019 年 4 月 23 日

②基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度になるもの 2020 年 4 月 20 日開催の定時株主総会決議による配当に関する事項

イ. 金銭による配当

・配当金の総額 2,284,397 千円

・配当の原資 利益剰余金

・1 株当たり配当額 87 円

·基準日 2020 年 1 月 31 日

· 効力発生日 2020 年 4 月 21 日

ロ. 金銭以外による配当

・配当の原資 利益剰余金

・株式の種類 普通株式

・配当財産の種類 関係会社株式

・配当財産の帳簿価額671,000 千円

・1 株当たり配当額 25 円 55 銭

・基準日 2020 年 1 月 31 日

・効力発生日 2020 年 4 月 21 日